

# 令和6年度 世界へのトビラ事業 オンラインミーティング開催報告

1. 日 時 令和6年4月26日（金）10:00～11:00
2. 会 場 オンラインで各所（Zoom を利用）
3. 参加者 11名（外国人講師 5名 / アドバイザー 6名）
4. 開催内容 自己紹介、事務局からのお知らせ、その他意見交換。

## （1）事務局からの進捗状況

- ① 今年度の「世界へのトビラ」講師派遣の広報チラシ完成。県内の小中学校、県立・市立高校等へ配布。夏以降には反響があり、依頼も増えてくる予定。
- ② 昨年度（2023年度）実施校へのヒアリング。本年度の実施予定や、実施がない場合の理由等をヒアリング。

## （2）講師人数が少人数の場合の募集について

現状、講師派遣人数が3人以下になるような場合は事務局中心となって選定を行う。

### ●講師からの意見

- ・小学校は中学校や高校に比べて講師の派遣人数が少ないことが多いので、公平にみんなにチャンスがいくようにしてほしい。
- ・講師にも個性があって、一人ひとり得意なことも違う。何を基準に講師を決めたのかという理由を伝えた上で依頼されると嬉しい。「あなただから来てほしい」という魔法の言葉が聞きたい。

### ●アドバイザーからの意見

- ・講師の皆さんの熱意はどの講師も変わらないので、事務局が各講師の通算派遣回数を確認して、平等になるように選定してくれれば良いと思う。
- ・回数だけを最優先にするのではなく、依頼先からの要望を把握して、話を聞く子どもたちにとって、ベストパフォーマンスができるように講師選定することが大切だと思う。

### ●協会

昨年度から始めた挙手制での選定方法について、手を挙げる講師の地域に偏りがあつたり、毎回同じ人が手を挙げている等の改善点はあるが、依頼内容をみんなで共有できることや公平性という点ではこの方法を取り入れよかったと感じる。今年も皆さんの意見を聞きながらこの方法で継続していきたいと思っている。

少人数募集の場合には、内容を考慮したうえで、派遣回数や講師の特徴、経験値等をみて事務局が中心となって講師・アドバイザーの選定をしていきたいと思う。

その際、選定理由を明確にした上で依頼するように気を付けていきたい。今後は依頼自

体も地域の偏りがあるので、県内さまざまな地域で実施ができるように件数アップを目指していきたいと思う。

### (3) 講師の資料作成について。著作権問題。

最近、学校での ICT 教育が盛んになった。PC を使ってパワーポイントで見せる機会も増えてきている中、資料を WEB サイトからダウンロードをして使っている人も多いと思う。著作権問題についての事務局の見解はどうか。

#### ●講師からの意見

自分の PC のみで使用するようになっている。ただ、事前に資料を送るケース等もあり、送った相手に使用後の削除をお願いするが心配。協会からもお願いしてくれると安心。

#### ●アドバイザーからの意見

以前、同じような内容で弁護士の話聞いたことがあるが、とても曖昧な部分が多い問題だなと感じた。訴えられたら問題だけど、実際どれだけの人が訴えるかということもあやふや。その時だけ使用して見つからなければいいよね。という部分が大きいような気がする。専門家などの講習を聞いて、自分の中で納得することが大切ではないか。そのような機会をぜひ事務局で持っていただきたい。また、資料の管理として、他に拡散することがないようにするということが、まず出来ることではないか。

#### ●協会

3 月に実施した勉強会でも話が出たが、事務局としても勉強中。すぐに対応できることとして、学校等の依頼先に事業実施後に、講師が使用したデータの削除をお願いする。またその旨を依頼先に渡す注意書きに加えて対応をしていきたいと思う。また、この件については皆さんにフィードバックの時間を今後設けられるようにしたいと思う。

### (4) SDG s に関する授業について

#### ●講師からの意見

- SDG s に関する授業では、講師はどこまでその問題のマイナス面も伝えるべきか？  
講師の知識・判断に任せてほしい。
- SDG s についての勉強はどの学校も必ずカリキュラムに入っているのか？  
詳しい話を聞きたいのであれば、講師じゃなくて専門家を呼ぶ方がいいと思う。

#### ●アドバイザーからの意見

アドバイザーとして講師の思いや話す内容を汲んで、学校へきちんと橋渡しすること。事務局、アドバイザー、講師、学校と事前によくすり合わせをして話をしておくことが大事だと思う。

#### ●協会から

その国の問題すべてを把握して伝えるのは難しい。まして皆さんは専門家でもないの、どの観点でどの切り口で話をするのか決めていくと迷わずにいいと思う。また、講師

の皆さんは国の代表ではないので、あくまで個人の考え、意見、思いを伝えるということで今まで通りお話ししてほしい。講師の話を聞くことで子どもたちが何かのきっかけにしてくれることが大切だと思う。

★ 意見交換することでいいアイデアが生まれたり、悩んでいることがすっきりしたり。

そんな機会になればいいと思っています。

引き続き、勉強会の内容のリクエストやアイデアがあれば協会までお知らせください。